

中部森林学会第3回大会 プログラム

共催：一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会
国立大学法人 岐阜大学

2013年10月19日
岐阜大学応用生物科学部

中部森林学会第3回大会 プログラム

【日 時】 2013 年 10 月 19 日 (土) 8:30~19:30

【主会場】 岐阜大学応用生物科学部講義棟 (〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1)

【大会日程】

8:30~	大会参加受付開始 (講義棟入口ロビー)
9:00~ 9:45	総会 (101 講義室)
9:45~16:30	研究発表会
	101 講義室 (造林) 102 講義室 (保護)
	100 講義室 (防災) 103 講義室 (利用)
	104 講義室 (環境保全・経営・林政)
17:30~19:30	懇親会 (生協第2食堂)

【発表者の方へ】

・各発表者のプレゼンテーションファイルについては、各分野の発表会場にて提出を受け付けます。
8:30 から 9:30 までは、午前の発表者を優先して受け付けます。午後の発表者の方は、**午前の部の終了後から 13:00 まで**受け付けます。プログラムにてご自身の発表会場をご確認いただき、各会場の担当者にプレゼンテーションファイルを提出してください。なお、午前の部の**造林 (101 講義室)**
で発表される方に限り、受付でファイルを提出して下さい。ファイル提出に用いる媒体は CD-R、USB メモリおよび USB ハードディスクとします。コンピュータ同士の通信あるいはネットワークを利用したファイルの受け渡しには対応できません。ご協力の程よろしくお願い致します。使用するパソコンは、Windows 7 - PowerPoint 2010 との組み合わせです。

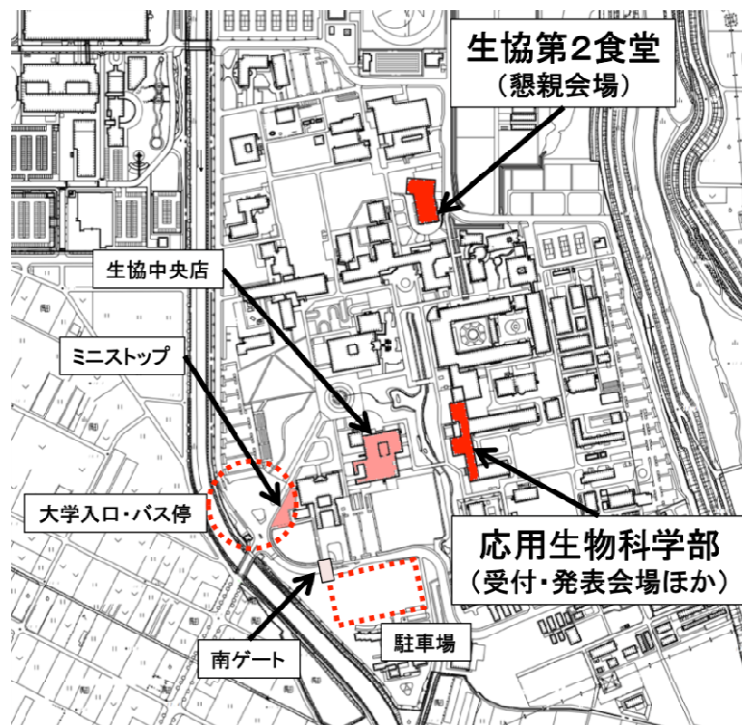
・発表時間は、発表時間 12 分、質疑応答 3 分の 15 分です。一鈴 10 分、二鈴 12 分、三鈴 15 分です。第3回大会より、前の発表者が次の発表の座長を行っていただくことになりました。午前終了時の発表者の方は、午後の最初の座長となります。投稿論文に対する査読者については、座長の方に限ることなく、依頼させていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【自家用車でお越しの方へ】

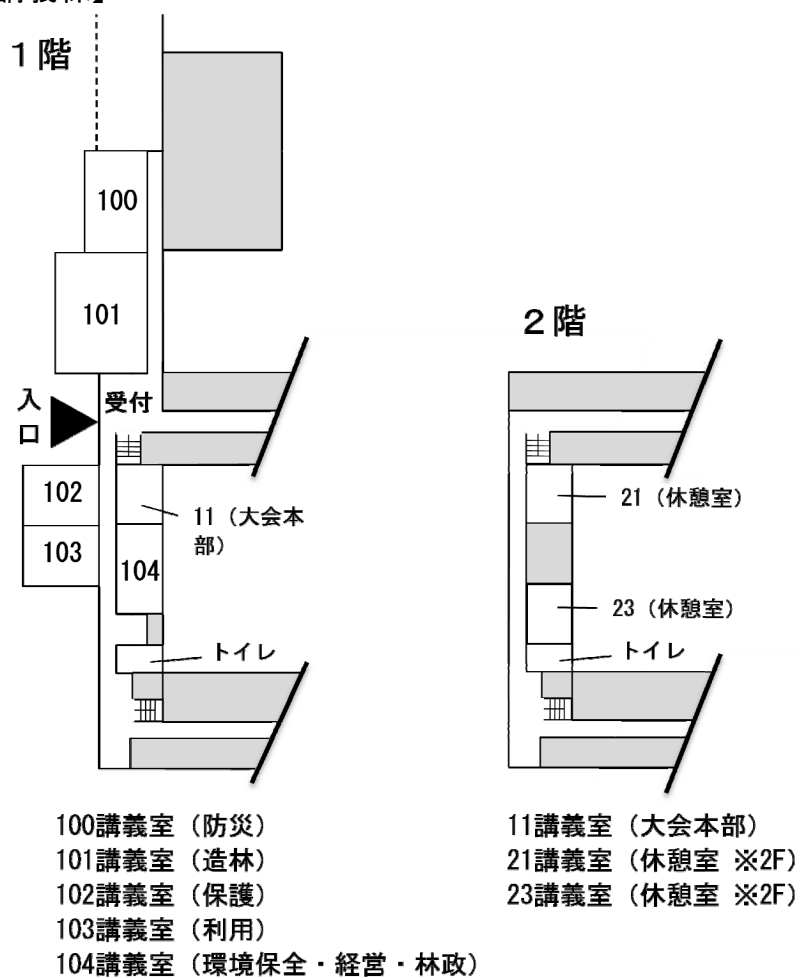
大会当日に自家用車で会場へお越しの参加者の方は、大学入口を右折して少し進んだ先にある南ゲートにて、中部森林学会大会の参加者である旨を申し出てください。その場で臨時入構許可証が配布されます。ゲートを通過後右側 (南側) の駐車場に車を止め、ダッシュボード上に臨時入構許可証を提示してください。構内マップについては次ページの会場案内図をご参照ください。

会場案内図

【岐阜大学構内】



【応用生物科学部講義棟】



タイムテーブル

		造林	保護	防災	利用	環境保全 経営 林政
開始時刻	終了時刻	101 講義室	102 講義室	100 講義室	103 講義室	104 講義室
9:00	9:45	総会				
9:45	10:00	101	201	301	401	501
10:00	10:15	102	202	302	402	502
10:15	10:30	103	203	303	403	503
10:30	10:45	104	204	304	休憩	504
10:45	11:00	105	休憩	休憩	404	505
11:00	11:15	休憩	205	305	405	休憩
11:15	11:30	106	206	306	406	506
11:30	11:45	107	207	307	407	507
11:45	12:00	108	208	308		508
12:00	12:15	109				509
13:15	13:30		209	309	408	
13:30	13:45	110	210	310	409	510
13:45	14:00	111	211	311	410	511
14:00	14:15	112	212	休憩	411	512
14:15	14:30	113	休憩	312	休憩	休憩
14:30	14:45	休憩	213	313	412	513
14:45	15:00	114	214	314	413	514
15:00	15:15	115	215	315	414	515
15:15	15:30	116	休憩	316	415	休憩
15:30	15:45	休憩	216	休憩		516
15:45	16:00	117	217	317		517
16:00	16:15	118	218	318		518
16:15	16:30	119		319		519
17:30	19:30	懇親会(岐阜大学生協第2食堂)				

造林

101講義室

101	09:45-10:00	光量が密閉ざしにおける5cmのヒノキさし穂の発根に及ぼす影響	茂木靖和(岐阜県森林研)
102	10:00-10:15	ヒノキ挿し木における挿し穂基部の切り返しと養生中の施肥の効果	袴田哲司・山本茂弘(静岡県農技研森林研セ)・遠藤良太(千葉県中部林業事務所)
103	10:15-10:30	植栽器具の違いが急傾斜地におけるヒノキ・コンテナ苗の植栽功程に及ぼす影響	渡邊仁志・茂木靖和(岐阜県森林研)・早川幸治(中部森林管理局森技支セ)・臼田寿生・古川邦明(岐阜県森林研)
104	10:30-10:45	高齢ヒノキ人工林調査結果による大径材生産可能な林況の検討	大洞智宏・渡邊仁志(岐阜県森林研)・横井秀一(岐阜県森文ア)
105	10:45-11:00	高標高・多雪の環境下に成立した高齢スギ人工林の林分構造ならびに個体の胸高直径と樹冠サイズの関係	横井秀一(岐阜県森文ア)・早川幸治(中部森林管理局森技支セ)
		休憩	
106	11:15-11:30	林床から樹幹上の光環境と付着根型つる植物2種の分布	中垣静香・小見山章・加藤正吾(岐大応生)
107	11:30-11:45	シデコブシ自生地の皆伐1年後の萌芽・実生更新	玉木一郎(岐阜県森文ア)・野村勝重・野村礼子(みどりの会)・楯千江子(シデコブシと自然が好きな会)・小木曾未佳(多治見市緑化公園課)・宮上佳弘(多治見市環境課)
108	11:45-12:00	白山におけるウラジロナナカマドとタカネナナカマドの葉の形態の変異	久野さやか(三重大生資)・木佐貫博光(三重大院生資)
109	12:00-12:15	白山におけるウラジロナナカマドとタカネナナカマドの果実形態の変異	大橋脩人(三重大生資)・木佐貫博光(三重大院生資)
		休憩(昼食)	
110	13:30-13:45	スギ由来のカリウムトランスポーターをコードする2遺伝子の単離と解析	西脇宏一・細尾佳宏(信大院農)
111	13:45-14:00	根羽村スギ人工林の植物種多様性におよぼす立地環境および林分構造の影響	城田徹央(信大農)・荒井真樹子((株)ユニオン)・丸山一樹(信大院総合理工)・岡野哲郎(信大農)
112	14:00-14:15	高密度で育苗して下枝葉が枯上ったスギおよびヒノキ培地付き苗の初期成長	近藤晃・伊藤愛・山本茂弘(静岡県農技研森林研セ)
113	14:15-14:30	Mスターコンテナによる海岸防災林植栽樹種の育成について	山本茂弘・伊藤愛・袴田哲司・近藤晃(静岡県農技研森林研セ)
		休憩	
114	14:45-15:00	大井川流域における再造林放棄地の後継植生の成長	加藤徹(静岡県農技研森林研セ)
115	15:00-15:15	スギ・ヒノキ人工林伐採跡地における落下種子および埋土種子の種構成	福本浩士(三重県林業研)
116	15:15-15:30	カラマツ再造林における低コスト化技術の検討	大矢信次郎(長野県林総セ)
		休憩	
117	15:45-16:00	ナラ枯れ跡地の森林整備が被害地の更新に与える影響	江口則和・中島寛文・山下昇(愛知県森林セ)
118	16:00-16:15	間伐が針葉樹人工林の植物の種多様性に与える影響	小谷二郎(石川県農林研)
119	16:15-16:30	ヒノキ天然稚樹の育成過程における密度推移について	小川義信(愛知森林管理局)

保護

102講義室

201	09:45-10:00	造林木への枝条巻付によるニホンジカの造林木への剥皮の防止効果	岡本卓也(岐阜県森林研)
202	10:00-10:15	広域侵入防止柵のシカ食害からの森林植生に対する保護効果	岡田充弘(長野県林総セ)・小山泰弘(長野県林務)・杉山要(要林産)
203	10:15-10:30	間伐後の人工林におけるニホンジカの選択的採食が下層植生上の節足動物群集に与える影響	片桐奈々・肘井直樹(名大院生命農)・野々田稔郎(三重県林業研)
204	10:30-10:45	シカの不嗜好植物との混植によるヒノキ苗の食害軽減検証試験	千村知博・早川幸治(中部森林管理局森林技支セ)・安藤正規(岐阜大応生)
		休憩	
205	11:00-11:15	富士山南麓におけるGPS首輪を用いたツキノワグマの行動追跡	大場孝裕・大橋正孝(静岡県農技研森林研セ)・望月敬史(あかつき動物研究所)
206	11:15-11:30	カラマツ人工林におけるヤマガラの給餌様式	早瀬晴菜(名大農)・近藤崇・肘井直樹(名大院生命農)
207	11:30-11:45	塩化ナトリウムが1年生クロマツ実生の生育に及ぼす影響	松田陽介(三重大院生資)・谷川東子(森林総研関西)・矢崎一史・高梨功次郎(京大生存研)
208	11:45-12:00	海岸クロマツ林における <i>Geopetium</i> 菌根圏の放線菌の分布様式	愛須加菜(三重大生資)・松田陽介(三重大院生資)
		休憩(昼食)	
209	13:15-13:30	異なるNaCl濃度におけるショウロの菌糸伸長	山川舞(三重大院生資)・栗栖敏浩(環総テクノス)・大和政秀(千葉大教育)・松田陽介(三重大院生資)
210	13:30-13:45	<i>Raffaelea quercivora</i> 菌株間のミズナラに対する病原力の差異とタンナーゼ、ラッカーゼ活性	鳥居正人(三重大院生資)・長尾美咲(三重大生資)・内山潔(NPO三重県自然環境保全セ)・森豊(御在所ローブウエイ(株))・松田陽介・伊藤進一郎(三重大院生資)
211	13:45-14:00	マツ材線虫病防除樹幹注入の適切な施工時期について	池田虎三(石川県農林研)
212	14:00-14:15	カシノナガキクイムシの発育零点と有効温量の試算	大橋章博(岐阜県森林研)
		休憩	
213	14:30-14:45	東京大学樹芸研究所青野研究林におけるカシノナガキクイムシ穿入木の発生状況	澤田晴雄・辻和明・辻良子・小林徹行・井上広喜・鴨田重裕(東大演樹芸研)・鎌田直人(東大秩父演)
214	14:45-15:00	愛知県知多半島におけるナラ枯れ防除効果とカシノナガキクイムシ(<i>Platypus quercivorus</i>)の生息状況	福田秀志・平田晋一(日本福祉大)・小堀英和(愛知県樹木診断協会)・衣浦晴生(森林総研関西)
215	15:00-15:15	被害材の浸水処理がカシノナガキクイムシの羽化脱出に及ぼす効果	松浦崇遠(富山県森林研)
		休憩	
216	15:30-15:45	岐阜県百年公園におけるサクラ属の花序を食害するチョウ目幼虫の同定およびその分布	鶴田燃海(岐大応生)・松本雄太(岐大院応生)・近藤勇介(東大院新領域)
217	15:45-16:00	2013年の福井県におけるマイマイガの大量発生とミズナラ堅果生産への影響について	水谷瑞希(福井県自保セ)
218	16:00-16:15	愛知県吉祥山におけるヒノキ枯れについて	中島寛文・上原裕助・山下昇(愛知県林業術セ)

防災

100講義室

301	09:45-10:00	2013年夏期寡雨時の平倉演習林内小流域における流出量と土壌水分	西澤啓司・沼本晋也(三重大生資)
302	10:00-10:15	樹冠冠雪からの昇華蒸発量の熱収支解析	矢作将之・北原曜・小野裕(信大農)
303	10:15-10:30	山地森林地帯における土壌凍結深の分布	田辺賛平・北原曜・小野裕(信大農)
304	10:30-10:45	山岳斜面における土砂移動の現地観測	今泉文寿(静大院農)・外狩麻子(東日本旅客鉄道(株))
		休憩	
305	11:00-11:15	浜松市春野町で発生した大規模崩落とその要因	土屋智(静大院農)
306	11:15-11:30	2011年台風12号の豪雨により紀伊半島山間域で発生した斜面崩壊の特徴	増澤徳親(静大院農)・原田晋太郎(岐阜大院連農)・土屋智・逢坂興宏(静大院農)
307	11:30-11:45	土石流頻発溪流における降雨・流出特性の解明	原太一・林希宝・山田孝(三重大生資)
308	11:45-12:00	御岳土石流跡地における約30年間の植生遷移	堀井涼香・北原曜・小野裕(信大農)
		休憩(昼食)	
309	13:15-13:30	航空レーザ測量データを用いた深層崩壊危険斜面の効率的な検出手法の検討	戸田堅一郎(長野県林総セ)・大丸裕武・村上亘(森林総研)・小荒井衛・中埜貴元(国土地理院)
310	13:30-13:45	引き抜き試験時における根の破断位置の推定	奥中大智・北原曜・小野裕(信大農)
311	13:45-14:00	アカマツの引き倒し抵抗力の分析及び模型実験による根返りメカニズムの解明	高橋悠介(信大院農)・北原曜・小野裕(信大農)・小野圭(秋田県山本地域振興局)
		休憩	
312	14:15-14:30	木製治山堰堤の耐用年数と将来の腐朽予測	秋田寛己(信大院工)・北原曜・小野裕(信大農)
313	14:30-14:45	木製治山堰堤の部材として利用されたスギ材の耐久性	臼田寿生・和多田友宏・土肥基生(岐阜県森林研)
314	14:45-15:00	カラマツ製治山施設の劣化調査	山内仁人・今井信(長野県林総セ)
315	15:00-15:15	広葉樹天然林における崩壊防止カブの検討	阿辻雅言・北原曜・小野裕(信大院農)
316	15:15-15:30	針葉樹人工林を主とする流域における間伐前後の流出特性の変化	小野裕(信大農)・戸田堅一郎(長野県林総セ)・小林文知・宮本奈穂子(長野県松本林務)・北原曜(信大農)
		休憩	
317	15:45-16:00	近代の山地荒廃状況に関する庄内川流域と六甲山地の比較	田中隆文(名大院生命農)・木村正信(岐阜大)・山田孝・澤徹(三重大)
318	16:00-16:15	里山の地域性はどのように意識されているのか	北山祐希・上田渉多・田中隆文(名大院生命農)
319	16:15-16:30	テキストマイニングを用いた砂防分野における研究傾向の調査	上田渉多・北山祐希・伊藤和磨・印南賢人・西村淳吾・田中隆文(名大院生命農)

利用

103講義室

401	09:45-10:00	菌床シイタケ栽培における子実体の変色とポリフェノールオキシダーゼ活性に影響する因子の探索	上辻久敏・水谷和人(岐阜県森林研)
402	10:00-10:15	冷蔵刺激が菌床シイタケ5品種の子実体発生に与える影響	鈴木拓馬(静岡県農技研森林研セ)
403	10:15-10:30	菌床シイタケにおけるナメクジ被害対策	伊丹哉恵(愛知県林業術セ)
		休憩	
404	10:45-11:00	細菌によるマツタケ担子胞子の発芽促進	水谷和人(岐阜県森林研)
405	11:00-11:15	アラゲキクラゲの菌床栽培法	西井孝文(三重県林業研)
406	11:15-11:30	Estimating Vegetation Recovery in Banda Aceh Using Remote Sensing and GIS	Mochamad Candra Wirawan Arief・板谷明美(三重大院生資)・YayatDhahiyat・Parikesit (Padjadjaran Univ.)
407	11:30-11:45	森林へのアクセシビリティの評価におけるWeb地図サービスの利用の可能性	原一弘(三重大生資)・板谷明美(三重大院生資)
		休憩(昼食)	
408	13:15-13:30	ロングリーチグラップルによる間伐作業のコスト分布解析	古川邦明・大洞智宏・臼田寿生・和多田友宏・大重隆太郎(岐阜県森林研)・中島太(岐阜県可茂農林)
409	13:30-13:45	スイングヤーダの集材距離と搬出作業時間ならびに搬出経費との関係	菅沼伸仁(三重大生資)
410	13:45-14:00	WOOD LINERを使用した作業システムの生産性	渡井純(静岡県農技研森林研セ)
411	14:00-14:15	三重県内の施業集約化団地における搬出間伐の実態について	野村久子(三重県林業研)・島田博匡(三重県津農林)
		休憩	
412	14:30-14:45	手良沢山演習林における森林作業道災害発生因子の分析	進藤大輔・斎藤仁志・植木達人・井上裕・木下渉(信大農)
413	14:45-15:00	チェーンソー作業防護衣の汚損と視認性の変化	松村哲也・松村哲也・中西弘充(信大SVBL)・小西哉(信大織)
414	15:00-15:15	林業の安全性と生産性に影響を与える要因の解明—都道府県別統計による分析—	中島千嘉(名大農)・山田容三(名大院生命農)
415	15:15-15:30	木曽谷流域における民・国連携による林業再生への取組(准フォレストの取組)	谷澤功志(木曽森林管理局)

環境保全・経営・林政

104講義室

501	09:45-10:00	根圏のニッケル、コバルトがリョウブの養分吸収に与える影響	山口毅志(名大農)・竹中千里・富岡利恵(名大院生命農)
502	10:00-10:15	腐葉土と粘土鉱物の混合培地からの植物によるCs吸収特性	森部真子(名大農)・竹中千里・富岡利恵(名大院農)
503	10:15-10:30	安定セシウムの樹皮からの吸収とその輸送	花井勇一(名大農)・金指努・肘井直樹・竹中千里(名大院生命農)・小澤創(福島県林研セ)
504	10:30-10:45	コナラへのカシノナガキイムシの穿入はコナラの成長を促進する	岩井紀子・畑憲治・岩井紀子(東大演習林生水研)・澤田晴雄(東大演習林樹芸研)
505	10:45-11:00	市民ボランティアによる巻きがらし間伐の取り組み事例～安全で効果的な巻きがらし方法についての検討～	吉野知明(エスペックミック(株))・神谷輝幸(NPO森を再生する会)
		休憩	
506	11:15-11:30	森林所有者情報データベースの現状と今後の課題	上森安(三重大院生資)
507	11:30-11:45	アテ林分における一斉林から択伐林への誘導ー石川県珠洲市の民有林を事例としてー	中村亮介・植木達人・斎藤仁志・井上裕(信大農)
508	11:45-12:00	Template Matching法とLocal Maximum Filtering法を用いた航空写真からの樹頂点の検出と精度検証	小林竜大(信大農)・加藤正人(信大農)
509	12:00-12:15	超高解像度4バンド航空写真データを用いた樹種分類と精度検証-岡谷市横川地区を事例として-	小林日香留・加藤正人(信大農)・戸田堅一郎(長野県林総セ)
		休憩(昼食)	
510	13:30-13:45	航空写真データを用いた岡谷市横川地区の森林バイオマス推定の試み	本村垂紀・加藤正人(信大農)・戸田堅一郎(長野県林総セ)
511	13:45-14:00	ALOS衛星を用いた千葉県富津市民有林の森林情報解析	鈴木めぐみ・加藤正人(信大農)
512	14:00-14:15	ラジコンヘリコプターの簡易空撮を利用した伐採率調査の検討	近藤大将・加藤正人(信大農)・小熊宏之(国立環境研究所)
		休憩	
513	14:30-14:45	簡易デジタルオルソフォトを利用した森林境界明確化支援システムの開発	小林裕之(富山県森林研)・佐竹謙二(新川森林組合)
514	14:45-15:00	3Dカメラによる林分調査手法の開発-テンプレート・マッチングによる立木位置推定可能性の検討-	渡邊優美(名大農)・山本一清(名大院生命農)
515	15:00-15:15	景観スケールにおける人工林の生物多様性評価について	香坂紗由実・山田容三(名大院生命農)
		休憩	
516	15:30-15:45	林業と生物多様性との調和を目指した自然観察指導員による選木とその効果	小山泰弘・杉山要・小川朱実・村上さよ子・麻生知子(自然観察指導員長野県連絡会)・岡田充弘(長野県林総セ)
517	15:45-16:00	長野県における市町村地域新エネルギービジョンの策定状況とその内容	三木敦朗・岡野哲郎(信大農)
518	16:00-16:15	身近な緑地空間における心理的保養効果の考察	上原蔵(東京農業大)
519	16:15-16:30	森林美学の視点からの人工林管理	奥山綾菜・山田容三(名大院生命農)